

アフリカ・グリーン成長イニシアティブ

I. アフリカ・グリーン成長イニシアティブのコンセプト

- アフリカ自身が主導する発展を後押しし、グリーン成長を実現するため、
①オーナーシップと共創、②機動的な資金動員、③多様なパートナーとの連携によるアプローチにより我が国の貢献を最大化

II. 具体的取組

オーナーシップと共創

アフリカのオーナーシップを尊重した持続可能かつ包摂的な成長、回廊整備による地域の連結性向上に貢献

人への投資と対話によるキャパシティ強化

- 未来の産業人材イニシアティブ
日系企業と連携し、今後3年間(2022-2024年)で5,000人のアフリカ人材に対し、実践的な教育や経験を提供
- JICAやAOTSによる人材育成、体制整備支援等の技術協力
ABEイニシアティブやカイゼンを通じ、産業人材育成を支援
- 官民インフラ会議(QIC)等の政策対話の実施
我が国の「質の高いインフラ」への理解を促進し、日本企業の進出を支援



©JICA
NINJAとABEイニシアティブの連携
ABEイニシアティブ修了生(ガーナ)によるNINJAビジネスコンテストの参加(最優秀賞)

イノベーションを通じた社会課題解決

- 社会課題解決に繋がるビジネス促進支援
J-Partnership、AfDX等を通じた日本企業の進出支援
- 協業・オープンイノベーション創出支援
J-Bridge等を通じた日本企業とアフリカ企業との協業支援
- ICT/デジタルソリューション導入・展開
農業ICT、医療ICT等の導入実証

成長の基盤となるインフラの整備推進

- グローバル投資強化ファシリティ(JBIC)を活用した支援
- アフリカ・インフラ協議会(JADA)との連携
- 地域の連結性向上に資するインフラ整備(回廊整備等)
- デジタル化の推進に資するICTインフラ整備・展開
- アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)
- 持続可能な農業・食料システム構築(CARD/SHEP)
- 農業生産性向上と気候変動に対応した新品種の開発等



©JICA
モンバサゲートブリッジ(ケニア)(完成予想図)

機動的な資金動員

積極的な官民投資による気候変動緩和・適応ビジネスの着実な拡大(我が国及び相手国のNDCや、我が国エネルギー安全保障への寄与も期待)

気候変動緩和ポテンシャルへのアプローチ

- JCMパートナー国・プロジェクトの拡大
アフリカ各国の脱炭素移行と持続可能な開発を支援
- インフラF/S等を通じた案件形成支援
水素サプライチェーン構築、アンモニア製造/混焼等
- 調整電源を含む再生エネ発電事業への民間投資
公的ファインズ支援や人材育成による分散型電源事業の拡大
- 水素を含むエネルギートランジションへの民間投資
- 脱炭素社会に重要となる鉱物資源分野における協力
- ダム再生の案件形成支援



気候変動適応ニーズを投資機会へ

- 気候変動適応ビジネスの案件形成
適応の課題解決に向けた官民WS
AfDBやGCF等との連携

※ LEADイニシアティブ(NEXI)による付保

※ グローバル投資強化ファシリティ(JBIC)も活用し資金動員



小型浄水装置(セネガル)

多様なパートナーとの連携

国際機関、パートナー諸国及びアフリカ地域金融機関、民間企業等との連携を強化し、支援領域・インパクトを拡大

- EPSA5(AfDBとの協調スキーム)の活用
アフリカの持続可能で包摂的な成長のため、民間セクター開発を包括的に支援
- アフリカ地域金融機関(Afreximbank、AfDB、ATI、AFC)との連携(NEXI)
- OECDと連携した質の高いインフラの概念普及
- 国際開発金融機関の信託基金の活用
世界銀行、多数国間投資保証機関(MIGA)を通じた支援
- 国連工業開発機関(UNIDO)と連携したJCMプロジェクト形成
優れた脱炭素技術等をアフリカ諸国に展開
- 国連開発計画(UNDP)との連携
- 国際再生可能エネルギー機関(IRENA)との連携
再生可能エネルギー利用の分析・把握・体系化、政策上の助言の提供、能力開発支援等
- 日EUグリーンアライアンス